



愛川ふれあいの村 今月の風景

2019年11月 自然のたより

11月になっても、日中は暖かい日が続きます。そんな小春日和に返り咲いたスミレが道脇で静かに咲いていました。目を凝らせばキノコが顔を出し、耳を澄ませば鳥がさえずります。カツラの落葉による甘い香りや目にも美しい葉の色づきなど五感で楽しむ自然とさまざまな動植物がふれあう村を感じることができます。



リンドウ



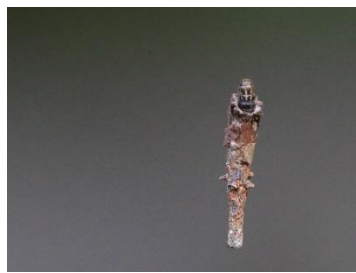
ナラタケで休むオオセンチコガネ



イロハモミジ



ミコシグサの種



ゆらゆらミノムシ



エナガ



ヌメリスギタケモドキ



アイカワタケ



スミレの返り咲き



キスジセアカカギバラバチ



サラシナショウマ



ニシキギ



ギンメッキゴミグモ



アゲハ



今年も来たツグミ

トピックス

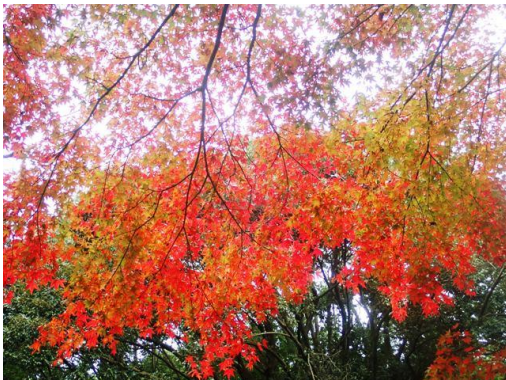
★どうして紅葉するの?★

今年も紅葉のシーズンになりました。村のイチヨウやモミジを筆頭にメタセコイア、カツラもきれいな褐色や黄色に変わり、来村者を楽しませてくれています。紅葉は春の桜と同様に、全国的にニュースになるほどなじみ深いものです。毎年訪れる紅葉ですが、そもそもなぜ葉っぱの色が変わるのかを考えたことはありますか？

葉っぱの色は葉緑素で決まります。葉っぱが光合成をするのに必要な葉緑素ですが、その中のクロロフィルと呼ばれる成分が多いと葉っぱは緑色に見え、カロテノイドと呼ばれる成分が多いと葉っぱは黄色く見えます。そして、一部の木は冬に備えるため枝と葉っぱをつなぐ茎の部分“葉柄(ようへい)”を閉じます。すると葉っぱの中の成分が変化して、アントシアンと呼ばれる成分が増えます。この成分が赤色に見せるのです。

緑色の成分は寒さに弱く、秋になると先に壊れてしまいます。黄色の成分は数が少ないので春、夏は目立たないですが、緑色の成分よりも寒さに強いいため、紅葉の時期に葉っぱを黄色く見せます。

物事の仕組みを知っていると、今までとは違うことが見えてきます。今年は色づきが遅いから暖かい日が長かったことや、アントシアンは日光に当たっているところほど赤く色づくので、日当たり加減がわかります。寒暖差が激しい季節です。暖かい恰好をして秋の代名詞『紅葉』を楽しみましょう。(清水)



緑色から赤色へ変わるモミジ▶

生き物 ★モズ(百舌鳥)★

朝、我が家の家庭菜園のトマトを収穫に行ったところ思わず「ギャー」と悲鳴を上げてしまいました。スズメがトマトの茎に挟まっていたのです。いったい誰の仕業なのか…

このような事は、秋から多くみられモズの「はやにえ」という行動です。モズは、捕まえた獲物を木の枝先や有刺鉄線などに突き刺して、冬の食糧確保をしていると考えられていますが、「はやにえ」を食べることなく、そのまま放置されていることがあるようです。そのため、何のために行っているかわかりかなくなっていません。

もし見かけたら、よくモズの行動を観察し、その不思議に迫ってみてはいかがでしょうか。

(菅原)



旬 ★隼人うり★

愛川ふれあいの村の休憩所に、緑のカーテンとして植えてある隼人うりが、10~11月にたわわに実る。8~10cm大になったものを収穫し、皮ごとおいしくいただいている。

〔食べ方〕

- ① 豚肉と相性がよく、炒めて食べる。
- ② <サラダ>いちょう切りにしたうり・柿・カニカマボコを合わせ、マヨネーズで和える。
- ③ <漬け物>うりと刻んだ生姜を混ぜ、浅漬けの素を加えビニール袋に入れ、数時間冷蔵庫に入れて出来上がり。
- ④ 味噌と酒粕に少々の砂糖を加え、半分に割ったうりを漬けこみ3ヶ月。奈良漬風味は絶品!(河野)



来月の見どころ 遠くへ行きたい
植物は、自分の子孫を残すために山の種子や果実を残します。種子や果実は、いろいろな方法で「遠くへ行きたい」と散らばっていきます。ドングリやオニグルミは、果実の重みで落下する『重力散布型』です。リスやノネズミに食べられることもあります。樹木はたくさんの実をつけるので少しぐらい食べられても実は残り、芽生えます。鞘や皮がはじけて種子を勢いよく飛ばすヤマフジやゲンノシヨウコは、『自力散布型』。細かいトゲや、粘る液で動物や人に付着するコセンダン、グサヤヌスピトハギ、ノブキなどは、『付着散布型』です。鳥に食べられて運ばれるツルウメモドキやマユミなどの実は、『被食散布型』。ふれあいの村でよく見かけるタヌキに食べられたギンナンも被食散布型です。イロハカエデやヒマラヤスギの種子は、翼があり風に吹かれて飛ぶ『風散布型』でその様子は見ていて楽しいものです。薄い黄色の花を咲かせていたアキノノゲシ、いつの間にかみんな白い綿毛に変わり小さな黒い瘦果を下につけ風が吹くと一斉に「遠くへ行きたい」と飛んで行きます。(吉田)